

校長室だより



富士学園
特集号

令和4年10月7日

校長 齋藤 瑞穂

富士学園移動教室報告

～ 移動教室の3日間をふいかえて～

すっかり遅くなってしまいました。今回は9月7・8・9日に5・6年生が出かけた、富士学園移動教室の様子をお知らせします。

第1日 7時前に学校へ集合し、クラスごとに全部で4台のバスに乗って出発です。

富士学園移動教室は、山梨県忍野村にある杉並区の施設「富士学園」で行われます。あいにくの空模様でしたが、5・6年生のワクワク感はそんな天気には負けません。出発式では、見送りの方々に元気に「いってきます！」と挨拶し、足取りも軽く杉七小を後にしました。



最初の活動は、ほうとうづくり。これもクラスごとに4つの



民宿に分かれての体験でした。小麦粉に水を少しずつ加え、力を込めてこねて、大きなかたまり

にまとめます。まとまったら、かたまりをビニール袋に入れて足で踏み、さらに袋から出して今度は綿棒を使って薄く大きく伸ばします。それを1cmくらいの幅に切ったら、ほうとうのできあがり。カボチャや豚肉、大根、ニンジンなど、野菜たっぷりのみそ汁立ての汁で煮込まれたほうとうは、しこしこした歯ごたえとつるりとしたのどごしが最高で、たくさんの方がおかわりしていました。中には6杯も食べたという強者も！

次は富士山レーダードーム館とふじさんミュージアムの見学



です。今のように宇宙に人工衛星を打ち上げて気象データを集める以前は、富士

山頂に設けられた富士山レーダーが日本の気象観測の要でした。富士山レーダードーム館は、1999年に役目を終えたレーダードームの実物が展示されている体験学習施設です。富士山頂寒さ体験にはみんなびっくり。気象観測の歴史、観測にかけた人々の苦労などを学びました。ふじさんミュージアムは、富士山の魅力について、富士山の地形的な成り立ち、歴史、富士山信仰など、いろいろな方面から知ることができる施設です。2013年、世界遺産に登録され、日本を訪れる観光客からも大人気の富士山です。日本でくらす私たちが魅力を話せるようにしたいものですね。

いよいよ富士学園へ到着です。体育館で行わ

れた開園式では、お世話になる学園の方々に挨拶し、これから3日間の約束を確認しました。



夕食後は館内肝試し。くじ引きで決まった2人1組で、明かりが消えた館内を歩きます。途中で

待ち構えるのはおどかし役のレク係。先に行った人たちの、スタート地点まで聞こえる悲鳴や泣き声に、順番を待つ方もだんだん不安が大きくなるのか、無口になっていきます。終わってみれば、「楽しかった～！またやりたい！！」という人がいれば、やっとのことでゴールにたどり着き、ぐったりして話もできないような人もいて、大成功のレクリエーションでした。

第2日 朝6時30分に起き、体育館で朝会です。新しい杉七オリジナルリズム体操「全力少年」で、まずは目を覚まします。二日目の予定を全賞で確認しました。

この日、午前中は河口湖フィールドセンターでガイドウォークとクラフト制作。小雨が降っていたため、ガイドウォークでは特別に船津胎内樹型を見学させてもらいました。



富士山の噴火によって流れ出した溶岩で形作られた溶岩樹型の中でも特に大きなもので、内部はまるで人の胎内のような。また、クラフト制作では、富士山一帯に咲く野花の押し花を使ってパーウエイトを作りました。世界で一つのお土産です。



午後は鳴沢氷穴から東海自然歩道をハイキングして富岳風穴へ。風穴の中

はひんやりとして、上着がないと寒いぐらいです。



かつて自然の冷蔵庫だったことも納得でした。

そして夜はお待ちかね、キャンプファイヤーです。みんなの願いが通じたのか、雨が上がって園庭で実施できました。杉七小の先生方からのメッセージ動画、学園の方が準備してくださった音と光のプロジェクションマッピングでにぎやかに幕をあけると、続いてレク係演じる火の神たちが



入場し、点火。赤々と燃え上がる火を囲んで、ゲームやクイズ、歌やダンスなどで盛り上がりました。あっという間の1時間でした。

第3日 最終日です。「来た時よりもきれいに帰ろう」をモットーに、次に来る人のことを考えて、布団の始末や部屋の掃除を協力して行いに行きました。6年生は昨年の経験が活かされ、どの班も素早くきちんと整頓することができていて感心しました。さすが、6年生！

閉園式でお世話になった学園の方々に別れの



挨拶をし、さかな公園へ。ここでは湧水の里水族館と森



の学習館を1組2組交代で見学しました。富士山一帯でくらす生き物について、水族園では魚、学習館では動植物を学びました。



特に学習館では、実際にさわることでできる標本がたくさん準備されていて、館長さんのお話興味深く、楽しく学習できました。



最後の見学地は忍野八海です。八海といってももちろん海ではなく、富士山の伏流水などの湧き水でできた池のうちの8つを呼ぶものです。8つの池はそれぞれ大きさも形も水の様子も个性的で、来日する観光客からも人気のある場所。水が湧き出す様子がよく見えるお釜池、透き通った水が美しい湧池、アメンボがたくさんいた菖蒲池…鏡池では集合写真を撮りました。



帰りの道も順調で、ほぼ予定通りに杉七小に到着。たくさんのお家の方や先生たちが迎えに来てくださいました。あっという間の3日間でしたが、きっと忘れられないたくさんの思い出ができたことでしょう。



昨年度の校長室だよりも書きましたが、「自分のことは自分です」…これは、簡単なようでむずかしいものです。5・6年生ともなれば、「いつも自分のことは自分でしているよ」と思っている人がほとんどでしょう。しかし、いざ家を離れてみると、ふだん自分が気付かないところでどれだけお家の方の世話になっているのか実感したのではないのでしょうか。

今回、班の友達に助けもらったな、迷惑をかけてしまったと思う人は、あらためて自分のいつもの生活をふりかえり、自分で自分のことができる(=自立)ようにしてほしいと願っています。そして、集団行動ではいつでも自分がしたいことを優先できるわけではなく、時には自分の気持ちをコントロールして集団に迷惑をかけないようにする(=自律)ことも大切だということをしっかり胸にきざんでほしいです。

令和4年度もあと半年。移動教室の学びを生かし、5・6年生は高学年として、杉七小をしっかりリードして行ってくださいな。



保護者の皆様

今年の移動教室は、富士学園。あいにく天候には恵まれず、「富士学園なのに3日間とも富士山が見えないなんて」と大人は嘆いていましたが、子供たちはなんのその。家を離れ、学校を離れという非日常を思いきり楽しんでいました。

また、残念といえば、すでに区報等でご存じの方も多いと思いますが、富士学園が移動教室の宿舎として利用されるのは今年度が最後となりました。徒歩圏内に忍野八海や高座山、湧水の里水族館などがあり、周囲を林に囲まれた広い園庭がある恵まれた環境の宿舎ですので、仕方ないこととはいえ、なんとも惜しいです。富士学園閉館という年に宿泊ができた今年度の5・6年生は、ラッキーだったとも言えるかもしれません。

閉館は寂しいですが、それも含めて、子供たちの胸には富士学園で過ごした3日間がきつといつまでもあざやかな思い出として残ることでしょう。保護者の皆さまには、お見送り、お迎えにたくさんおいいただき、ありがとうございました。